

★コロナ関連学校方向性ニュース

今日の一年生でとりあえず全学年、1回目の分散登校が終わりました。来週と再来週は、週2回の登校と学習指導となります。1年生は登校時間が水曜日と金曜日で違いますので、間違わないようにしてください。

●購買について

5月18日(月)・5月19日(火)・5月20日(水)の
8時30分から8時45分
12時35分から12時50分
に購買室を開けます。

購買で購入できるものは、3つです。上靴・体育館シューズ・ノート類(普通のノート・漢字ノート・英語ノート)です。

以下のノートに関しては、新1年生は購入(市販もしくは購買にて)が必要と思われまますので、ご説明します。

※漢字ノート・・・200字帳。市販のものでも可能です。ただし、購買で売っているタイプのもは市販されていないそうです。1冊150円です。年度初めに1冊だけ、国語の時間に配付されます。ただし、予備も必要かと思ひますので、必要な場合は来週の月・火・水に購入してください。

※英語ノート・・・英文が書ける、4線になっているノートです。1ページに13段あります。1冊100円です。年度初めの授業での配布はありません。市販もしくは購買でご購入下さい。



★西中プライド(生徒のみなさんに望むこと)

校長ミッションに関してですが、すでに何名かの人に提出していただいています。

読書に関しては、あの小さい紙の欄がすべて埋まっている生徒もいて、がんばってくれている様子が伝わってきます。正式な読書カードを配布しました。そこに記録し直して全員が学級担任の先生に提出してください。読書の調査は、1年間ずっと行う予定です。さて、「あなたは1年で何冊の本を読むことができますでしょうか？」

令和2年度西中マスコットのデザインに関しては、A4サイズの紙で提出してくれている人も、最初に配った小さい紙で提出してくれている人もいます。まだできていない人は、今週配られた用紙に描いて提出して下さい。A4の紙に描いてくれた人はそのまま提出してくれて結構です。配られた用紙に描き直して出す必要はありません。小さい紙の方に書いた人は、もう一度描き直すか拡大コピーして貼り付けて提出してください。

校長ミッション3～5に関しては、A4サイズの用紙、または、先日配布した用紙に書いて提出してくれてもどちらでも結構です。

●「校長室から」については今回の分ではしばらくお休みします。アラビアンナイトに関しても、まだ10話分ぐらいはネタがありますので、また機会があれば紹介します。「校長室から」の更新目的として昨日8つあげていましたが、1つ抜けていました。それは、

9、「国際理解(異文化理解)をして欲しいから」という理由です。

日本で感じている常識は、世界の人とは大きな隔たりがあったりします。日本も含め世界中の様々な常識のどれもが正解であって、その土地その土地の様々な事情や歴史が、人の行動様式や考えに結び付いています。大切なことは、自分たちの常識以外にも、世界各地に違った常識があり、その常識には背景につながる理由があるということを知ることです。視野を広く持って他の人の常識や背景を知ることが、他の人に対して寛容となり、コミュニケーションをはかる上での助けになります。そして、他の人の事情を受け入れようという積極的な行動が、グローバルな人材となる第一歩であると信じています。この「校長室から」の文章によって、西中学校の生徒のみなさんが「多方面に目を向けられる国際色豊かな人」へと成長する第一歩となってくれたらうれしいなと思っています。

★西中の先生からのコーナー

生徒指導担当 木岡先生からのメッセージ

中学校生活で身につけて欲しいこと。

中学校の3年間は社会に出るための勉強期間です。義務教育期間も中学生で終わります。卒業後、高校生になる人や、働く人など、選択肢は様々です。そこで、周りの人から認められる人になるために中学校生活があります。

私が一番大切だと感じていることが、言葉遣いです。例えば、目上の人と話すとき、友だちと話すような口調で話しますか？この期間に言葉遣いを身につけておくことが信頼される人になることにつながると思います。一番身近な目上の人といえば学校の先生。その先生に対して正しい言葉遣いで話すことができますか？出来ていないと思う人はこの機会に自分の言葉遣いについて見直してみましょう。

しかし、「しようとするればできる、だから今はしなくてもいい」という考えの人がいます。はたしてどうでしょう。いざとなると、普段の話し方が出てしまうものです。普段から言葉遣いに気をつけていないと周りから「言葉遣いがなっていない人」といったレッテルを張られてしまい、自分に対する周りの評価が下がってしまいます。それでは手遅れだと思いませんか。すべては自分に返ってくることだと思いながら学校生活を過ごしてみましょう。



★アラビアンナイト(千夜一夜物語)

アブダビ日本人学校の児童生徒が一番楽しみにしている行事は何かというと、学校から行く「砂漠キャンプ」でした。アブダビから車で40分ぐらいのところにある砂漠に入り、そこで1泊2日のキャンプを行うのです。砂漠は大変広大で当然目印となる建物もなく、迷い込むとまったく戻れなくなる可能性もあります。ですから、我々がキャンプを張る場所は、車で走ることができる道路からわずかに進んだところで、しかも近くにガソリンスタンドがある場所です。ガソリンスタンドが近くにある場所がなぜ必要かという、砂漠を走るときはタイヤの空気圧を低くする必要があり、そこで空気をぬくのです。そして、キャンプからの帰り道には空気圧を戻すため、ガソリンスタンドが必要なのです。

例年10月ぐらいに行われる行事なのですが、真夏の7月・8月よりはましとはいうものの、まだまだ猛暑です。特に日中の砂漠は街中よりはるかに高温で、60℃にもなることがあります。バスに乗って砂漠内のキャンプを張る位置の近くまで行き、バスから降りてさらに30分ほど歩いて、キャンプ地についたころにはみんなぐったりしています。それでも一山越えて歩くと、四方は砂山だけになり、人間のつくった建物は見あたらない、それどころか低木や草木すら見えないような、絶好のロケーションのキャンプ地に到着します。キャンプ地につくと、まず一晩過ごすためのテントを張りますが、猛烈な暑さと四方から吹く風でペグがなかなか打てずに、悪戦苦闘します。

テントの準備が終わり、次はレクリエーション大会です。大人でもぐったりするような気温と斜面が多い砂地の中、子どもたちは元気に走り回って楽しめます。

それが終わると、夕食の準備です。たいていはカレーライスやバーベキューです。かつて個人で行った砂漠キャンプで2回だけラクダの肉を食べました。初めて食べたときの印象ですが、味はまずくはなかったのですが、ものすごく硬くタイヤにかみついている気分でした。2回目に食べたときは、前回は嘘のように食べやすくおいしかったです。牛肉・豚肉・鶏肉でも部位によって味や硬さが違うように、1回目食べたときと2回目食べたときでは、ラクダの肉の部位が違ったのだと思います。

日没後、砂漠キャンプでの一番楽しい時間です。その時期の砂漠の夜は、大変過ごしやすい気温になります。砂の上に大の字に横たわると、砂漠とは思えないさわやかな風が吹き、街からの光は砂丘がさえぎってくれて、見え

るのは大空の星だけです。「星ってこんなにたくさん見えたっけ？」と思うほど、たくさんきらめいていて、流れ星も数多く流れ、たとえ願い事をしそこなっても、次の流れ星にチャンスがあります。

砂漠を旅するベドウィン（遊牧民）は、星座を頼りに旅をしたといいます。大昔からのたくさんのアラブ人が見たであろう星の数々に感動しました。

ところで、砂漠といえば、サソリなど怖い生き物もいるのではと思いますよね。います。

サソリは猛毒で、我々が大使館の医務官から聞いた話では、種類によって毒の強さは違うものの、「人が死ぬほどの毒ではないが、さされると死ぬほど痛い」ということで、背筋が凍ったものでした。ただ、私自身は何度か砂漠に行っていて楽しみましたが、サソリに出会ったことはありませんでした。あと、医務官から教わった危険な生き物は、砂漠のヘビです。これはサソリ以上の猛毒らしく、見つけても絶対に近寄らないように教わりました。毒ヘビとしてはコブラ以上の猛毒をもつものもいるようです。

楽しい星の観察を終えて、テントでの寝袋に入った夜を過ごす、翌朝の9時ごろにはもう40度を超える暑さになっています。道具を片付けて、歩いてバスまで戻り、空気圧を戻して街に帰ります。



